



和敬会だより

第144号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野 呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



日本医療機能評価機構
認定第 JC1435 号

発行日 令和5年10月24日



院内研修会が4年ぶりに対面開催され、院長講演には大勢の職員が参加しました。

医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・ 専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・ 常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・ 広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・ 精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・ 環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・ 精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・ 人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院
ホームページ



職員募集専用



「ようこそ外来」へようこそ

理事長・院長 谷野 亮一郎



「初めまして谷野と言います。〇〇さん、えつ、ご家族に引つ張って連れてこられた?!(笑) でもよー来られた。ようこそ」

こんなご挨拶して、私のアルコール依存症専門外来は始まります。渋々でもご本人が「ここに来た」事実を何よりもまず評価し、歓迎します。そう、「ようこそ外来」とは、依存症の通院治療における治療者側のスタンス(態度)を指します。

「ようこそ外来」では、受診した勇気を称えます。ご本人が問題に感じていることを聞き取り、これまで起きた問題点を整理します。そしてご本人がどうしたいかに焦点をあてます。依存症についての知識を提供します。診断とその根拠を分かりやすく明確に説明します。(依存症の診断がつかずならば、病気であり、治療が必要であることを強調します。治療方法と治療ゴールを明確に提示し、ご本人と共に決定します(断酒にこだわらず、中間ゴールとしての節酒も選択肢)。外来治療が続くよう治療者側が最大限配慮します。説得や説教はしません。再飲酒を責めません。ご家族の苦労をねぎらい、ご本人、ご家族に断酒会への参加を勧めます。必要であれば入院を検討しますが、無理強いはしません。ざっとこんな感じです。

アルコール依存症は慢性的の病気であり治療継続が重要です。このようなスタンスで外来治療を行う最たる目的は、治療からの脱落を防ぐことです。あなただつたら、行くたびに責められ、説教されるようなところに通いたいですか？

アルコール依存症の回復なくして、飲酒問題だけをなくすよう強いてもナンセンスです。飲酒による問題は責められるべき問題ではなく、ともに回復を目指すアルコール依存症の症状であることを忘れてはいけません。(以下省略)

先日、このような文章を地方紙に掲載させていただきました。

この文章には紙面の都合上割愛したところがあります。それは依存症についての知識を提供すると共に、アルコールが「身体」に与える影響についての知識を提供することです。もちろんすでにかかりつけの内科の先生から耳にタコができるほど聞かされてきた患者様もおられます。「このままでは癌になりますよ」「認知症になりますよ」「長く生きられませんよ」等と聞かされても(おどされても)、なおお酒の飲み方を変えることができません。その時点でアルコール依存症の診断基準のひとつを満たすことになりす。ですからアルコールが「身体」に与える影響についての正しい知識を提供することは、依存症の診断をつける上で不可欠な「リトマス紙」なのです。

「いつでも見る」をモットーに



3A病棟は、年号が令和に変わる直前の平成三十一年四月に二つの病棟が合併し、新たな病棟として新スタッフとともにスタートしました。

一階では、高齢患者さまの残存機能の維持や、合併症予防の取り組みを行っています。二階は、患者さまの平均年齢は若いですが、長期入院になっているケースも多く、患者さまが抱える問題への対応を日々のふれあいを通して行っています。

私たち病棟スタッフは、患者さまと共に考え、悩み、解決策を模索しながら、一日でも早い回復を願い退院支援を行っています。

これからも「いつでも見る」をモットーに看護・援助していききたいと思えます。

最後に、七月の空を見てふと浮かんだことばを綴ります。

夏空に

思いをともに

やり遂げる

退院して、夏空の雲を外で見ることを祈りつつ。

3A病棟師長 荒木 康博



生活支援センター 出前講座を開催しました

生活支援センター事業のひとつ「地域活動支援センター」型では、六月二十三日(金)に「出前講座」をデイケアのぞみと合同で開催しました。富山市消費生活センター消費生活相談員の方を講師にお招きし、『あなたは大丈夫!?それは詐欺かもしれません!!』をテーマに講義をしていただきました。近年、メールによる詐欺などが身近なところでき、よくニュースで見聞きすることがあると思います。今回の講座では、最近の詐欺の特徴やその対処方法など映像を交え、分かりやすく教えていただきました。

消費生活相談員の方からは、被害に遭わない言い言葉として『つ・そ・き』を覚えておいてほしいと話がありました。

『つ(つまり話しは信用しない)』

そ(身近な人へ相談する)

つ(つられて返事をしない・すぐに契約しない)

き(きつぱり、はっきりの断る)』との事です。



参加された方々は「日頃気にしていないあやしいメールがどういうシステムできているのかわかった。」「役に立った。」との感想が聞かれました。今回のテーマは身近な話題ではありますが、専門家から話を聞く機会がなかったので有意義な時間となりました。

地域活動支援センターでは、今後地域生活を送る上で役立つ内容の出前講座を継続していきたいと考えています。

生活支援センター 精神保健福祉士 舟本 陽子

デイケアのぞみ 菜園クラブはじめました

今年度、新たにメンバーの有志を募り、園芸活動を始めました。デイケアのテラスでキュウリやインゲン豆、ミニトマトやゴーヤを植えています。メンバーは長年畑作業をしているベテランから全く触れたこともない方までいるので、皆でわいわい言いながら挑戦しています。「キュウリができたらどうやって食べようか」などと言いながら、一日一日成長していく姿を楽しんで見守っています。



その甲斐あって、テラスにはグリーンカーテンが広がり、夏の日差しを和らげています。最近では、少しずつ収穫し、調理プログラムで新鮮な野菜が使用でき、調理のメンバーにも好評です。また、小さな花壇で草花を育てる事にも挑戦しています。

このような園芸活動を通じ、手間ひまをかけて育てる楽しみ、植物・生き物・食べ物を楽しむ、やさしい気持ち芽生えることを願っています。

デイケアのぞみ所長 岡島 良雄



法人の動き

月	日	事項
5	1	地域移行機能強化病棟入院料届出受理
5	15 ～ 26	初任者研修
5	29	理事会
6	6 ～	新型コロナウイルスワクチン令和5年春接種を開始
6	14	職員総会
7	10 ～ 21	患者満足度調査

初任者研修を修了しました



毎年五月に新職員を対象とした「初任者研修会を開催しています。今年も五月十五日～二十六日の十日間に渡って、『谷野呉山病院の取り組み』、『精神症状のとりえ方』基本編、『治療計画と精神科治療』、『当院の看護活動』、『精神科リハビリ』、『当院の地域生活支援システムの紹介』など、各講師による熱のこもった研修が行われました。最終日のグループワークではすっかり打ち解けて、活発な議論が交わされていました。希望に満ちた表情を見ると、和敬会の未来も明るいな、と思えました。

ご多忙の中、講師を務めてくださった谷野理事長を始めとする講師各位にこの場を借りてお礼を申し上げ、和敬会の職員としての一步を踏み出した新職員と共に、和敬会がさらなる飛躍を遂げる様、職員一人一人力を合わせて頑張ってくださいませよう。

人事課 野村うちぬ

五月八日以降の新型コロナウイルス感染症対応について

令和五年五月八日から新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが「2類相当」から季節性インフルエンザと同様の「5類感染症」になりました。

振り返れば、二〇二〇年三月末に富山県で新型コロナウイルス感染者が発生し、そこから感染対策が本格的に始まりました。少しでも感染のリスクを減らすために患者さま・ご家族に一番ご迷惑をおかけしたのが面会の制限です。クラスター時には、面会も不可となりました。現在もご家族のみの面会とし時間の制限もありません。面会もおかしています。

今後は厚労省の指針に基づき、当院でも昨年度のクラスター発生時に行った感染拡大防止の方法を一部変更します。

そして、いつ感染の波が来てもいいように、職員の感染対策への高い意識を持ち続けていきたいと思えます。

看護部長 吉澤 紀子

編集後記

今年是全国的な猛暑や豪雨災害の多発など自然の猛威が続いています。

新型コロナウイルスもそうですが、脅威は減らしても簡単にはなくなりません。自分の身を守るためのこと、脅威を減らすためにできること、変化に対応すること。それぞれが大事だと感じます。

(志)

紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。